

第一回 はあもにいフェスタ代表者会議 議事録

実施日：平成 25 年 8 月 18 日（日）10:00～12:00

出席者：

運営委員会 代表 熊本市女性リーダー協議会 中山敏子さん
副代表 男女共生社会を実現するくまもとネットワーク 三島美枝さん
事業委員会 代表 環境 NPO 緑の生活ネットワーク 佐藤彩己子さん
副代表 ほっとステージ BINGO 積 久美子さん
広報委員会 代表 ACT くまもと 加納亜紀子さん
(事務局) はあもにい館長・藤井、反後

審議事項：

1 全体事項

(1)新規参加団体について（報告）

→くまもとフェアトレード推進委員会の追加参加あり。

(2)部屋割り案

→現在提示の案で了承。おもな変更点は、新規参加団体の追加、当館主催事業のウィメンズカレッジの催事追加、参加団体側の意向での変更に対応したものです。

(3)参加団体交流会日程

→11 月 29 日（金）14 時から反省会 15 時ごろより交流会実施に決定

(4)はあもにい HP に、「はあもにいフェスタ準備室」を追加しました。事前準備、委員会議事録等掲載していきます。（報告）

(5)食品取扱いに関し、本年度は、臨時的営業許可にかかる手数料¥1700 は、事務局にて負担します。（報告）

2 各委員会での検討内容とそれらに対する他委員会代表者・事務局からの意見交換

(1)運営委員会

(ア)フェスタ当日の案内表示の強化

(a)館内で何がどこで行われているかを示す看板、パネル表示

(b)扉のある会場は、入口付近に団体名と催しものの内容を掲示。途中入場可能な催し物は、扉をあけて「途中入室可」「お気軽にお入りください」といった表示を掲示。（共通のフォーマットで）受付を廊下にだす。

→これらに関しては、事務局で共通フォームをつくります。

(イ)お客様の回遊性の強化＝クイズラリーについて

- (a)クイズラリーが、問題をみにいくだけで、他の催しものへ参加するなど
の効果をだしていないのでは？また、問題をみにいかない場合も。
 - ・上記にあるように、講座への途中入場が可能であることをアピール。10分でも15分でものぞいてもらえるように。
 - ・解答欄にスタンプやシールを貼るなど、必ずクイズ問題のある場所にいかなくてはならない仕掛けをつくる。
 - ・場所がわかりにくいという声があった。他施設では、「猫のあしあと」をたどっていくところもあった。たとえば、「はあもにい」のキャラクターである、ミーモちゃんを追っていくとクイズラリーの場所に迷いなくいけるといった仕掛けをし、その途中に、「3回まわってワンという」等、すごろく風に指示をいれ、クイズラリーに参加することが楽しめるようにする。
- (b)子どもだけでなく大人にも足を運んでいただけるよう、大人も楽しめるクイズ問題を。
- (c)クイズラリーの受付係のマニュアルを作成し、当日当番で入る方々に事前に渡しておく。
- (d)クイズラリーを含め、フェスタは参加者が楽しかったと思えるもの、親子で会話して帰れるような内容に。(数年前、「フォーラム」から「はあもにいフェスタ」に変わった)

→これらの提案については、引き続き、事業委員会/事務局でも検討して実施案をつくります。

(2)事業委員会

(ア)映画鑑賞会

- ・事業委員会で一般3本、家族向け1本に絞ったものから、事務局案を提示。熊本での上映が今後あるかどうかを確認後、再度検討。
- ・終了後、来館客が1Fで買い物が可能なように、時間を調整して開始時間を設定する。

(イ)クイズラリーについて

(a)参加団体への要望

- ・クイズ問題の提案
- ・当日スタッフとしての参加のお願い

- ・最低、常時4名はほしい。例年、負担が一部に集中してしまう。準備と片づけを含め、今年は早めに予定を組んで各団体に協力を依頼。

(b)場所について

- ・上階に足を運んでもらうため、スタートを1Fにし、ゴールを4Fにするという案がでたが、人員が少ないこともあり、スタートとゴールをわけるのは難しい状況。そのため、今年も1Fを発着場所とする。景品の交換場所が手狭だったので、今年はロッカーがある場所（エントランスの窓側近く）あたりまで拡張して場所を確保したい。

(c)景品について

- ・未使用の品の持込と購入（昨年なみの予算で）
- ・花苗は人気だったので、今年も購入したい。

→運営委員会からの提案とあわせ、引き続き事業委員会と事務局とでクイズラリーの概要をきめ、各団体に問題の募集と当日スタッフ入り可能時間をお伺いさせていただきます。

(d)交流会について

- ・料理については、野菜ソムリエの料理＋参加団体からの1品持ち込みを希望
- ・交流をはかりやすくするため、壁面に掲示板をおき、各団体のプロフィール等記載する。

→これらについては、事務局で予算等調整させていただきます。

(e)独自イベントの提案

- (a)「東日本大震災はまだ終わっていない」ことを啓発できる企画をとの提案があった。内容については、費用等関係するので引き続き事業委員会で検討し、案をだす予定。場所は空いている会場を利用して実施する。

→でてきた案をみて、費用、人員の確保等も含めて実際に実施するかどうかを検討します。

→他代表委員より、寄付について質問があった。(過去に参加団体が寄付をしたことがあった?) それについても実施の有無、方法等案をだす予定。

(b)その他、「着物リフォームファッションショー」、「お茶会」の提案があった。いずれも、過去のフェスタで実施したとのこと。

→事務局より、全体共通のイベントではなく、参加団体の一つとして、実施するのであれば問題ない旨、回答。それぞれの団体に、参加意向を確認。

(オ)その他

フェスタ開催時間について

昨年、1F エントランスはチラシ上 16:00 までという案内をだしていたが、15:30 頃から撤去をし始める団体もあった。各団体に決まった時間を守る必要あり。売り切れ等の場合は「売り切れ」等の表示をだす。

→1F エントランスの開催時間については、事務局で決定させていただきます。

(3)広報委員会

(ア)本日と明日、各団体にチラシを作成する際に役立つよう、チラシ作成講座を実施。

(イ)フェスタの事前告知活動の実施

(ウ)フェスタ当日、どこで何をやっているかの館内表示の作成

(エ)フェスタ当日、どこで何をやっているかの手配りチラシを作成し配布する

◎フェスタのチラシについて以下、方向を確認。

・事前告知用のチラシは、より手にとりやすくインパクトのあるものがないとの意見あり。そこで、事前告知としては、各団体が個別に作成したチラシと、内容をしぼった簡易チラシを利用して行う。また、ポスターも作成する。

各団体の詳細がのっているパンフレットは、当日来館したお客様用に配布（当日配布用なので、紙はもう少し薄くして）。

→使い分けをすることにより、経費を有効にまわして、効果的な広報を可能にするため。

・当日は、各団体のプロフィール、活動募集のチラシを配布できるようにしてもよい

のでは？→方法を検討します。

＊＊今後の会議日程：会場はいずれも学習室

8月19日（月）9:00-10:00 広報委員会 チラシ作成講座（実施済み）

8月27日（火）10:00- 事業委員会

8月29日（木）13:30- 運営委員会

9月 6日（金）14:00～ 第2回代表者会議

10月 3日（木）10:00～ 第3回全体会